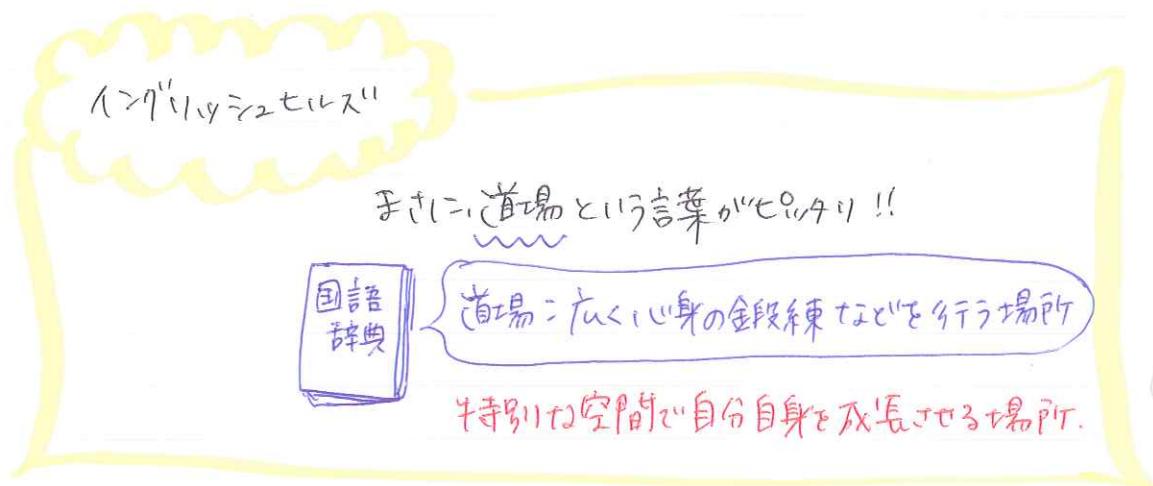


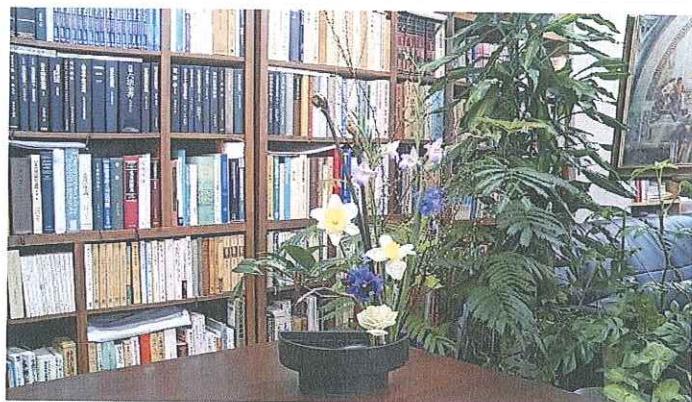
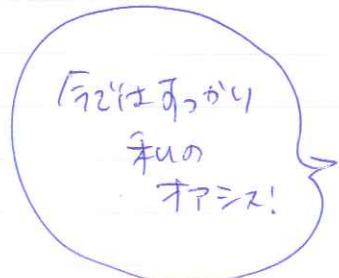
和(に)と、この英会話道場 (イングリッシュセミナーズ)



レッスン中は二人で「かか」「イングリッシュセミナーズ」の特別な
空間で構成している要素は、たぶんの受講生の多くや
先生によるものだと感じます。

この日暖かい雰囲気に包まれながら、先生と二人でいいの旅に出かけます。

「イングリッシュセミナーズ」に通い約3年4ヶ月。
感謝の気持ちを込めて、今回私は私が「学び」、「成長」について
紹介いたします。



先生は、私のトークを度々、レッスン日記に素直なコメントと共に紹介してくれています。毎回、本当に嬉しく自分のトークで「か」、何度も見直します。

今、この私のトークがあるのは、謙遜がない。私は英語ができないからです。



レッスン時に先生のあいさつなどは伝わる。でも、単語が全くしか聞き取れないので、トークにまとめることはどうしていいか……

先生の

「印象に印象を重ねる」ニセカイ
センターにたりまして。



うわ!! 文章にできているのでは。
社会にこう!!



この時のトークを先生はとても褒めて素直な言葉をかけてくれています。
英語が苦手でいつも宿題は負に追われていてるので、とてもせっかちであります。

そして、私の印象を重ねる度のトークスタイルが出来上がりまして。

Dictation も始まは「(時間で) 100語、 200語、 300語」と。

本当に「100語」しか出来ませぬ」と。

他の後講生の宿題が「紹介され、その量にとても悲しくなる」として賞されています。それでも、発表するとして、「今は丁寧な(準備もよう)」とされています。

「アレがうれしいも発表すること成長までモチベーション」と

実感できます。

時間の価値について

時間の価値について、いまよく賞めている失敗談があります。

レッスンを開始して間もない頃です。

早朝レッスンで「7時からの約束で」とあります。ある日、15分前の6時45分に同じ手で。寒い日で「CTN」の先生は教室に迎えてくれています。

そこで、時間の大切さについて、お話ししていく「TNT」。

「時間の価値」を(はっきりと言葉)することができます。

(先生の大好きな時間で無理やり奪っていくのです！)



翌週 - レッスンの前に先生から「いつも強く言い過ぎます」と言葉をかけていく「TNT」をします。

それで同じく、本当に申し訳ないことをして改めて「TNT」をします。

そして、厳しいながらも言葉の奥にある優しさに胸がいっぱいになります。

まつげまつげ失敗言葉は沢山あります。

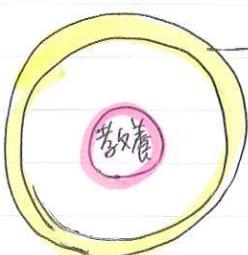
何度も何度も弱音を吐き、その度に

決めるのは自分自身

見守してくれます。

困難と感じる事を乗り越える為に、自分で決める事にはとても大事なことだと伝えておこうと思います。

一般の英会話スクール



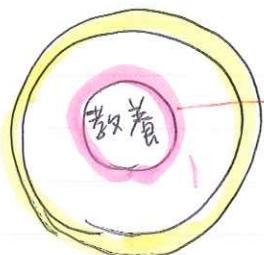
ニニばかりで磨く。

受講生の紹介

TOEICの
高得点者
たとえ

道具としての器ばかり磨く。

英会話道場(イングリッシュセミナーズ)



ニニを磨く!

受講生の紹介

英語そのものが不得意でも、
先生の公平・平等な精神により
紹介していく所である。

英語のもう奥の部分を磨く。

今まで、先生はレッスンで同じ言葉を何度も繰り返したり、
悪い表現に変えてたりして、「云えようとしてください」といいます。

毎回ものすごい努力をしています！

その先生が目の前に、知っているふりや、自分で良く見せたり
という気持ちではなく起きさせられ
ます。英語が自分の中に入る邪魔になります。

それでも、ボイスレコーダーを直面すると、自分自身の受け取ったの
耳に届かせると身も下ります。



本当に落ち込み、自分自身がやめ~~!!



それがいい！

勇気とがく勇気は自分で成長させる
力量(=力)とわかるからです。

ありのままの自分が、町で生きてる山の間に歩いて成長していきます！

私にとっての英会話道場イングリッシュヒルズ

イングリッシュヒルズ

まさに、道場という言葉がピッタリです。

国語辞典によると、「道場」は広く心身の鍛錬などを行う場所であると明記しております。特別な空間で、自分自身を成長させる場所です。

レッスン中は二人だけですが、イングリッシュヒルズの特別な空間を構成している要素は他の受講生の方々や先生により作られていると感じます。この暖かい雰囲気に包まれながら、先生と二人で、心の旅に出かけます。

イングリッシュヒルズに通い、約3年4ヶ月。感謝の気持ちを込めて、今回は私が学び、感じた事をご紹介したいと思います。

先生は、私のノートを度々、レッスン日記に素敵なお言葉と共に紹介してくださいました。

毎回、本当に嬉しく自分のノートですが何度も見直します。

今この私のノートがあるのは、謙遜なしに私は英語が出来ないからです。

レッスン時に先生のおっしゃる事は伝わってくる。

でも、単語が所々しか聞き取れない。ノートにまとめる為にはどうしたらいいか。

↓（この部分で、先生の「印象に印象を重ねる」ことがヒントになりました）

文章にできないなら、絵にしよう！と思いつきました。

その時のノートを先生はとても褒めて素敵なお言葉をかけてくださいました。

英語が苦手で、いつも宿題に追われていたので、とても嬉しかったです。

そして、私の印象を重ねる為のノートスタイルが出来上がりしました。

ディクテーションも始めは1週間かけて、2ページ、3ページと、本当に数ページしか出来ませんでした。他の受講生の宿題が紹介され、その量にとても悲しくなったのを覚えています。それでも、続けることで今では、だいぶ進めるようになりました。

少しずつでも続けることで成長できると、実感できるチャンスに恵まれていると感じてい

ます。

また、初めから時間の価値を理解している生徒ではありませんでした。

今でもよく覚えている失敗談です。

まだレッスンを開始して間もない頃でした。早朝レッスンで朝7時からの約束でしたが、私はある日、15分前の6時45分に伺いました。寒い日でしたので、先生は教室に迎えてくださり、時間の大切さについて厳しくお話ししていただき「時間の価値」をはっきりと意識することができました。

翌週、レッスンの前に先生が、「少し強く言いすぎました。」と言葉をかけていただき、本当に申し訳ないことをしたと改めて感じました。そして、先生の厳しいながらも言葉の奥にある優しさに胸がいっぱいになりました。

まだまだ失敗談は沢山あります。何度も何度も弱音を吐き、その度に「決めるのは自分自身」と見守ってくださいます。困難と感じる事を乗り越える為に、自分で決めるることはとても大事なことだと振り返るとわかります。

一般の英会話スクールでは、私の英語レベルで長く勉強を続けることは不可能であると思います。そして、道具として英語の器ばかりを磨いている英会話スクールでは、きっと、TOIECなどの高得点者などを紹介すると思います。

ここ、イングリッシュヒルズでは、英語のもっと奥の部分、器に何を入れるのかを学べる場所です。だからこそ、先生の公平・平等な精神をもって、英語が不得意な私を紹介してくださるのだと思います。

今でも、先生はレッスンで言葉を何度も繰り返したり、易しい表現に変えたりして、伝えてくださいます。それは毎回、ものすごい労力だと思います。その先生を目の前に、知っているふりや、自分を少しでもよく見せたいという気持ちは全く起きませんし、英語が自分の中に入る邪魔になります。それでも、ボイスレコーダーを聴くと、自分自身の受け答えの恥ずかしさのあまり身もだえします。前は本当に自分が嫌になりましたが、今ではそれでいいと思っています。恥をかく勇気は自分を成長させる糧になると分かるからです。ありのままの自分自身で、まだまだ沢山の恥をかいて成長していきたいと思います。